聖霊降臨後第19主日特祷(特定24)

全能の神よ、あなたは洗礼によって、私たちを御自身につながるものとしてくださいました。どうか私たちに注がれた聖霊の御力によって、心も体も新たにされ、純粋で真実な心をもってあなたを礼拝することができますように。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの主、イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

旧約聖書 創世記 32章23-32節

32:23 だが彼は夜中に起きて、二人の妻、二人の召し使いの女、それに十一人の子どもを引き連れ、ヤボクの渡しを渡って行った。24 ヤコブは彼らを引き連れ、川を渡らせ、自分の持ち物も一緒に運ばせたが、25 ヤコブは一人、後に残った。すると、ある男が夜明けまで彼と格闘した。26 ところが、その男は勝てないと見るや、彼の股関節に一撃を与えた。ヤコブの股関節はそのせいで、格闘をしているうちに外れてしまった。27 男は、「放してくれ。夜が明けてしまう」と叫んだが、ヤコブは、「いいえ、祝福してくださるまでは放しません」と言った。28 男が、「あなたの名前は何と言うのか」と尋ねるので、彼が、「ヤコブです」と答えると、29 男は言った。「あなたの名はもはやヤコブではなく、これからはイスラエルと呼ばれる。あなたは神と闘い、人々と闘って勝ったからだ。」30 ヤコブが、「どうか、あなたの名前を教えてください」と尋ねると、男は、「どうして、私の名前を尋ねるのか」と言って、その場で彼を祝福した。31 ヤコブは、「私は顔と顔とを合わせて神を見たが、命は救われた」と言って、その場所をペヌエルと名付けた。32 ヤコブがペヌエルを立ち去るときには、日はすでに彼の上に昇っていたが、彼は腿を痛めて足を引きずっていた。

詩編第121編

- 1 山々に向かって、私は目を上げる | 私の助けはどこから来るのか
- 2 私の助けは主のもとから | 天と地を造られた方のもとから
- 3 主があなたの足をよろめかせることがないように | あなたを守る方がまどろむこと がないように
- 4 見よ、イスラエルを守る方は 単 まどろみもせず、眠ることもない
- 5 主はあなたを守る方 || 主はあなたの右にいてあなたを覆う陰

- 6 昼、太陽があなたを打つことはなく | 夜、月があなたを打つこともない
- 7 主はあらゆる災いからあなたを守り | あなたの魂を守ってくださる
- 8 主はあなたの行くのも帰るのも守ってくださる | 今より、とこしえに

使徒書 テモテへの手紙二 3章14節-4章5節

3:14 だがあなたは、自分が学んで確信した事柄にとどまっていなさい。あなたは、それを誰から学んだかを知っており、15 また、自分が幼い頃から聖書に親しんできたことをも知っているからです。この書物は、キリスト・イエスへの信仰を通して救いに至る知恵を与えることができます。16 聖書はすべて神の霊感を受けて書かれたもので、人を教え、戒め、矯正し、義に基づいて訓練するために有益です。17 こうして、神に仕える人は、どのような善い行いをもできるように、十分に整えられるのです。

4:1 神の前で、そして生きている者と死んだ者とを裁かれるキリスト・イエスの前で、その出現と御国とを思い、私は厳かに命じます。2 御言葉を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを続けなさい。忍耐と教えを尽くして、とがめ、戒め、勧めなさい。3 誰も健全な教えを聞こうとしない時が来ます。その時、人々は耳触りのよい話を聞こうと、好き勝手に教師たちを寄せ集め、4 真理から耳を背け、作り話へとそれて行くようになります。5 しかしあなたは、何事にも身を慎み、苦しみに耐え、福音宣教者の働きをなし、自分の務めを全うしなさい。

福音書 ルカによる福音書18章1-8節

18:1 イエスは、絶えず祈るべきであり、落胆してはならないことを教えるために、弟子たちにたとえを話された。2 「ある町に、神を畏れず人を人とも思わない裁判官がいた。3 その町に一人のやもめがいて、この裁判官のところに来ては、『相手を裁いて、私を守ってください』と言っていた。4 裁判官は、しばらくの間は取り合おうとしなかったが、後になって考えた。『自分は神など畏れないし、人を人とも思わないが、5 あのやもめは、面倒でかなわないから、裁判をしてやろう。でないと、ひっきりなしにやって来て、うるさくてしかたがない。』」6 それから、主は言われた。「この不正な裁判官の言いぐさを聞きなさい。7 まして神は、昼も夜も叫び求める選ばれた人たちのために裁きを行わずに、彼らをいつまでも放っておかれることがあろうか。8 言っておくが、神は速やかに裁いてくださる。しかし、人の子が来るとき、果たして地上に信仰を見いだすだろうか。」